

出穂期は平年より2日程度早まる見込み！

- 早生品種では穂肥時期を迎えています。遅れずに1回目穂肥を施用しましょう。
- 中干しは、根域確保のため出穂1か月前をめやすに終了し、飽水管理に移行しましょう。

1 コシヒカリ生育概況（6月30日調査）（4地点平均）

草丈…	53 cm	（指標比 109%、やや長い）
茎数…	523 本/m ²	（同上 116%、多い）
葉色…	36.8 <small>（葉緑素計）</small>	（指標差 -1.7、やや淡い）
葉数…	10.4 葉	（同上 0.7、早い）

2 北陸地方の気象予報（新潟地方气象台）

【1か月予報・6月25日発表】

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。
平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

【3か月予報・6月23日発表】

向こう3か月の気温は、期間の前半を中心に暖かい空気に覆われやすいため
高いでしょう。

3 当面の対策

（1）ケイ酸質資材の施用

出穂前35～18日頃を目安にケイ酸質肥料を施用し、稲体の強化を図りましょう。

（2）穂肥対応

本年の出穂期は各品種とも、**平年より2日程度早まる見込み**です。

早生品種は各ほ場の幼穂を確認し（表1）、1回目の穂肥は適期に施用しましょう。

全量基肥肥料を施用した早生ほ場でも、褪色している場合は、出穂期の葉色が確保
できるよう追肥を検討してください（表2）。

表1 出穂前日数と幼穂長

出穂前日数	30日	24日	20日	18日	12日	10日	8日
幼穂長 (mm)	0.2	1	2～4	5～10	40～60	80～110	170

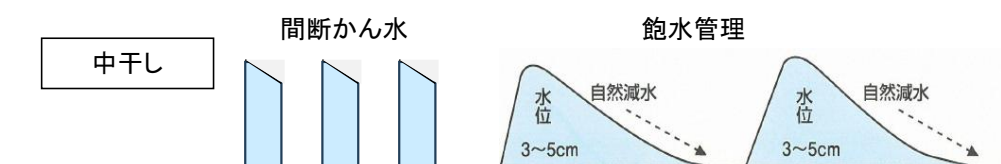
表2 品種別出穂期と穂肥時期のめやす

品種名	予想出穂期	穂肥時期（分施体系）		穂肥時期（出穂期前日数）		出穂期の葉色値（SPAD値）
		1回目	2回目	1回目	2回目	
なつひめ	7/15	6/20～6/22	7/1	25～23	14	39～41
ゆきん子舞	7/21	6/26～6/28	7/7	25～23	14	36～38
つきあかり	7/21	6/26～6/28	7/7	25～23	14	40～42
こしいぶき	7/24	7/1	7/10	23	14	34
コシヒカリ	8/2	7/15～7/18	7/23	18～15	10	32～34
新之助	8/10	7/20～7/23	7/29～7/31	21～18	12～10	34～36
五百万石	7/20	6/30	7/8	20	12	—
わたぼうし	7/21	6/29～7/1	7/9～7/11	22～20	12～10	—
こがねもち	7/28	7/10～7/13	7/18	18～15	10	—

※コシヒカリ、こがねもち、新之助は5月10日、その他は5月連休移植を想定。
 ※地域や田植え日、今後の気象状況等により、出穂期は異なります。

（3）コシヒカリの中干しと中干し後の水管理

中干しは、根域確保のため出穂1か月前をめやすに終了しましょう。中干し終了後は根の健全化や地耐力維持のため浅水の間断灌水とし、徐々に飽水管理に移行しましょう。



（4）葉いもち、カメムシ類の発生に注意

葉いもちの本田発病が確認されています。早期発見に努め、発生状況に応じて防除を実施しましょう。

6月下旬の斑点米カメムシ類は、確認地点率・すくいとり虫数ともに平年並～やや多くなっています。畦畔や水田内の除草を徹底し、カメムシ類の密度を下げるとともに、品種ごとの出穂期予想をめやすに適期防除に努めましょう。

【次回は7月8日に水稻生育速報No. 5を発行予定】

【新発田地域水稻生育速報LINE登録募集中です！】

○LINE公式アカウントを開設しています。

10月までの期間、新発田地域の稲麦大豆栽培に関わる情報を発信します。

登録はこちら →

